

発行
令和3年
2月15日
第85号

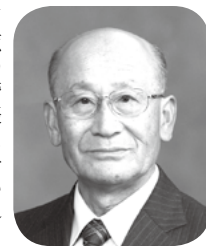


発 行 者
長野県下伊那農業高等学校
同 窓 会
TEL (22)5550
FAX (53)0339
編 集 ・ 発 行
同 窓 会 幹 事 会
印 刷 龍 共 印 刷 株 式 有 限 公 司

創立百周年記念式典を終えて

同窓会長（記念事業実行委員長）

関 島 伸 喜（高13回卒）



同窓の皆様にかかれましては、ご健勝にて新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

の中で、安全に実施出来る行事の在り方の手本になつたとの評価を頂き安堵しております。

さて本年四月からは百一年目として母校の新世紀への歩みが始まる事になります。過去七年にわたつて取り組んできた百周年記念事業も記念誌の発刊をもって終了致します。募金活動から始まり、学習棟、蛟竜館」建設、百年記念石碑建立、マイクローバス更新、校名板の更新、そして記念式典の実施と全ての事業が完結いたしました。しかし残念ながら式典計画の中で、中国交流三十周年記念祝賀、鎌田實先生を招いての記念講演会、そして何よりも全員参加の祝賀会が出来なかつたことは本当に残念でなりません。これらにつきましては学校行事の中で、在校生を中心にした事業として実現出来る様お願いして参ります。また祝賀交流会につきましてはコロナ禍の脅威が払しょくされた時点で、母校の歴史を振り返る思いの会を開催したいと考えております。発刊予定の記念誌はこれから電磁社会化が進む中、何十年後にこ

うした形の記録誌が刊行できるものか不透明です。今回限定出版となりますので、是非ともお求め願ひ、今後活用されます様お勧めいたします。

今地域農業は人口の減少と共に農山村の疲弊が強まり、田園まさに荒れなるとする姿があります。行き過ぎた経済成長は地球温暖化を招き地球規模の大災害を誘発、さらに新型コロナの蔓延もその驕りの延長線上にあると言われます。ゆえに人々は現代社会の在り方に疑問を持ち始め、都会志向から田園生活を求める動きが胎動を始めました。ITの農業活用、スマート農業の未来、SDGs（持続可能な開発目標）等々農業の未来は明るさを増し、こうした時代にこそ母校の果たす役割が見えてきます。母校下農が百年の歴史を踏まえ、新たな地方の時代を切り開く若き農業者の育成に力強く踏み出す事を心から願うものです。

『山河うつくし伊那の里』
勇壮なアルプスの山並みと、天竜川の河岸段丘の織り成す光景の広がる伊那谷にも、実りゆく秋が深まり、自然の恵みに感謝する季節となりました。この地域特有の気候風土は、五百年以上の歴史を持つ特産の市田柿を生み出し、今、収穫と加工



『創立百周年記念式典式辞』

学校長 村 澤 博富美

の最盛期を迎えています。本日ここに、長野県教育委員会教育長原山隆一様、飯田市長佐藤健様、長野県議会議員小池清様をはじめ、多数のご来賓、並びに同窓会・PTAの皆様のご臨席を賜り、長野県下伊那農業高等学校創立百周年記念式典を挙行できますことは誠に感慨深く、在校生・教職員一同、この上ない歓びであります。本校に熱い思いをお寄せ頂いた多くの皆様に、心より感謝を申し上げます。また、国際理解

教育の先駆けとして始まった中国蘇州農業職業技術学院との交流も三十周年を迎え、ここに併せて祝うことができまことを大変うれしく思います。

社会の激しい変化と風雪に耐えてきた百年の歴史を顧みますと、本校は大正九年（一九二〇年）、飯田下伊那地域の農業振興への絶大な期待を一身に受け、鼎小学校の稲井分教場を仮校舎に四十五名の入学生を迎え「郡立下伊那農学校」として開校され、初代校長芝原彦十先生の立農精神の教えのもと、農業教育が始まりました。国際的には第一次世界大戦終結間もなく、国際連盟発足の年と重なり、国内では日本最初のメーデーの開催、政治では普通選挙実現運動の高揚、思想界では社会主義思想の台頭、そして飯田下伊那の産業は、全農家の七割以上が養蚕業という時代でした。生糸が輸出産業として隆盛を極め、ことに天竜川沿いには日本三大桑園に数えられる広大な桑畑が広がり、農家収入は県内トップクラスの蚕糸王国長野県を牽引する主力地域として栄え、これにより飯田下伊那の豪壮な農村風景の礎が築かれたのであります。

第二次大戦後、昭和二十三年の学制改革により現在

の歴史を振り返る思いの会を開催したいと考えております。発刊予定の記念誌はこれから電磁社会化が進む中、何十年後にこ

の学校名に改称され、翌年、農の思想を根幹とする詩情豊かな格調高い現在の校歌が制定されました。また教育の機会均等の実現のため下伊那郡内に十七校も

の定時制分校が設置されました。その後の日本は「東洋の奇跡」とも呼ばれるほどに目覚ましい復興を遂げ、高度経済成長とともに、農業も機械化・施設化が進み、生産性と品質の向上が図られました。この激動の昭和の中で、本校も技術の進歩に対応すべく、その都度学習内容の改善・充実に努め、幾多の学科変遷を繰り返し、昭和六十一年、生活科を食品化学科へ、昭和六十三年、農業科を農業機械科へ、平成九年、農業科・園芸科・林業科を再編し生産流通科・園芸クリエイト科へ、平成十五年、生産流通科と生活科を統合しアグリサービス科へと学科を転換し、現在に至っています。

『時の流れのさがしくて』この百年の間、社会や産業の激しい変化に、かつての閑閑な農山村風景は大きく変貌し、隔世の感を禁じ得ません。本校が歩んできた足跡を振り返ると万感の思いが迫ってまいります。一世紀の永きに亘り、地域の発展を支える若者をはじめとする一万九千有余名の有為な人材を世に送り出し、

農業を含め地域産業の発展に大きく貢献してきた本校の役割は、実に偉大であり、正に地域に根ざし、地域から信頼され、地域と共に歩んできた学校であると自負しております。

『農はわれらのいのちのちな』飯田市出身の詩人・英文学者である日夏耿之介先生が作詞された校歌の一節は、ゆるぎない農業教育の神髄として息づき、国際人・新渡戸稲造先生が昭和四年に本校で講演された際に、揮毫いただいたクラーク博士の「Boys, Be Ambitious!」の名言と「學は山に登るが如し」の訓言は、下農生にとって向学の拠り所となっております。生徒たちは、知識と実践を一体的に学ぶ知行合一の農業学習に汗を流し、主体性をもって取り組み、「専門的な学び」と「地域での学び」を両立させ、自ら考え行動する力、課題を解決する力を身につけるとともに、実用的な資格取得や産業現場でのキャリア研修、さらに海外研修を通して、地域社会、そして世界へと視野を広げていきます。

これからの時代は、第四次産業革命が進展し、農業においても、国際化や六次産業化はもとより、「デジタル化やスマート化へとシフトしていくものと思われま

す。こうした社会と技術の変化を的確に捉え、新しい感覚と柔軟な発想で、農業教育をチェンジしていかなくてはなりません。

そこで、本校は新学習指導要領に移行する令和四年度から、四学科の学習内容を全面的に見直し、それぞれ二コース制にリニューアルする予定です。地域資源の活用と地域活性化を学ぶ「地域探究コース」や、栽培を基礎としてスマート農業やICTの活用を学ぶ「生産技術コース」、六次産業化を目指したフード開発や食品の製造システムを学ぶ「食品開発コース」、その他にも「食農文化」「施設園芸」「食品分析」など八コースを新設します。教育内容をアップデートし、食と農の未来を拓く「新生下農」へと生まれ変わります。変化し続ける者だけが生き残れる時代。百周年を機に、新たな挑戦に向けて、確かな一歩を踏み出します。

「命に学び、心を育む」教育を不動の理念として、南信州の明日をつくる産業人を育成し、郷土を愛し、この地に生きる若者を育てることが、本校に課せられた重大な使命であります。

「大地を耕し、心を耕し、未来を耕す」これからも地域の皆様のご期待に沿えるよう、更に一層の努力を重ねる所存です。

生徒の皆さんも、下農での掛け替えのない三年間に、自らの生き方を模索し、希望をもって夢に挑戦してください。アフターコロナの世界では、価値観の転換や意識の変革を迫られ、マイナスの変化をプラスに変えていく回復力が必要です。加えて「人生百年時代」を生き抜くためには「学び続ける姿勢」が不可欠となります。新しい学びこそが、未来へつながるパスポートとなるのです。ここ下農に集い、互いに励み、学び合った経験を生きる糧として、新たな社会を創造し、未来

ねる所存です。生徒の皆さんも、下農での掛け替えのない三年間に、自らの生き方を模索し、希望をもって夢に挑戦してください。アフターコロナの世界では、価値観の転換や意識の変革を迫られ、マイナスの変化をプラスに変えていく回復力が必要です。加えて「人生百年時代」を生き抜くためには「学び続ける姿勢」が不可欠となります。新しい学びこそが、未来へつながるパスポートとなるのです。ここ下農に集い、互いに励み、学び合った経験を生きる糧として、新たな社会を創造し、未来

を動かす人間になることを願っています。結びに、コロナ禍にも拘わらず、この度の創立百周年記念事業をはじめ、これまでも母校の教育活動に有形無形を問わず多大なるご支援とご協力をいただきました同窓会・PTAの皆様、また歴代校長先生をはじめ本校の発展に寄与された旧職員の皆様に深甚なる敬意と感謝を表するとともに、ご来賓の皆様におかれましては、今後とも、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、式辞いたします。

私は、この百周年を迎える年にPTA会長を務めさせていただき、誠に光栄の至りです。PTA活動などを通して地域の方々と接する機会が多く、「下農の生徒さんは人間性がいい」「下農の生徒はいい子が多い」「下農を卒業された方々は礼儀正しい」などの様々な声や評判をお聞きします。これは創立以来百年の歳月の間、下伊那農業高等学校の教育方針のもとで取り組んでこられた先生方の教育実践の賜物であり、それを真摯に受け止め学び励んでこられた生徒の皆さんの努力の成果だと思えます。百年という歴史と伝統を積み重ねていくうえで、地域に愛されるということほど大切なことはありません。いつまでも地域の方々に愛される下伊那農業高校であってほしいと願っています。私も卒業生の一人として誇りに思います。

この百周年を共に迎える

この百周年を共に迎える

この百周年を共に迎える

この百周年を共に迎える

ねる所存です。生徒の皆さんも、下農での掛け替えのない三年間に、自らの生き方を模索し、希望をもって夢に挑戦してください。アフターコロナの世界では、価値観の転換や意識の変革を迫られ、マイナスの変化をプラスに変えていく回復力が必要です。加えて「人生百年時代」を生き抜くためには「学び続ける姿勢」が不可欠となります。新しい学びこそが、未来へつながるパスポートとなるのです。ここ下農に集い、互いに励み、学び合った経験を生きる糧として、新たな社会を創造し、未来



副実行委員長・PTA会長
宮 嶋 則 幸 (高46回卒)

創立百周年の節目を迎えて

長野県下伊那農業高等学校が創立百周年を迎え、「withコロナ」の時代の中ではありませんが、記念式典を開催できますこと、誠に喜び申し上げます。地域の熱い思いと期待のもと、一九二〇年(大正九年)、郡立下伊那農学校と

を動かす人間になることを願っています。結びに、コロナ禍にも拘わらず、この度の創立百周年記念事業をはじめ、これまでも母校の教育活動に有形無形を問わず多大なるご支援とご協力をいただきました同窓会・PTAの皆様、また歴代校長先生をはじめ本校の発展に寄与された旧職員の皆様に深甚なる敬意と感謝を表するとともに、ご来賓の皆様におかれましては、今後とも、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、式辞いたします。

私は、この百周年を迎える年にPTA会長を務めさせていただき、誠に光栄の至りです。PTA活動などを通して地域の方々と接する機会が多く、「下農の生徒さんは人間性がいい」「下農の生徒はいい子が多い」「下農を卒業された方々は礼儀正しい」などの様々な声や評判をお聞きします。これは創立以来百年の歳月の間、下伊那農業高等学校の教育方針のもとで取り組んでこられた先生方の教育実践の賜物であり、それを真摯に受け止め学び励んでこられた生徒の皆さんの努力の成果だと思えます。百年という歴史と伝統を積み重ねていくうえで、地域に愛されるということほど大切なことはありません。いつまでも地域の方々に愛される下伊那農業高校であってほしいと願っています。私も卒業生の一人として誇りに思います。

私は百周年記念行事に校友会長として出席することができて本当に良かったと感じています。理由は、下伊那農業高校の歴史を知ることができ今まで以上に下農を好きになれたからです。私達は百周年ムービーをつくるために下農の百年の歴史を調べました。調べていく際に、下農の以前の校長先生である遠山先生にご協力していただきました。遠山先生と校舎の周りをまわりながら、開校当時の地形や生徒、先生の様子などを教えてくださり、当時と今では建物の場所や玄関の位置が全く違ったこと、当時の農場の先生はとも怖かったことなど遠山先生でないとわからないお



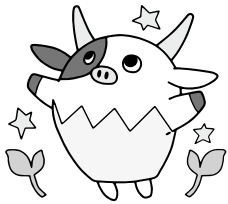
百周年記念行事を終えて
校友会長 松下陽佳

生徒の皆さんは、この恵まれた教育環境の整った下伊那農業高等学校で学んでいることに心から感謝してください。将来きつと、下農で学んでよかったと思える

時が来るでしょう。終わりに、下伊那農業高等学校の発展と同窓会各位のご健勝とご活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

話しをたくさん伺うことができてとても面白かったです。そして校章についても調べました。蛟竜がモチーフになっており、将来有為の人物となる可能性を持った下農生が蛟竜にたとえられています。このような開校当時の努力や校章に込められた想いがとても深く、素敵なもので下農が今まで以上に大好きになりました。

創立百周年ということの凄さが改めてわかり、今では下農生ということに誇りを持っていきます。下農に入学し百周年を迎えられて本当に良かったです。ありがとうございました。



下伊那農業高等学校
公式キャラクター「シモくん」



100周年記念式典功労者表彰(令和2年11月14日)



マイクロバス納車安全祈願祭(令和2年9月)



100周年記念棟「蛟竜館」テープカットセレモニー



100周年展の準備 100周年記念棟「蛟竜館」にて



100周年記念碑除幕式・校名板披露後の集合写真
(100周年記念実行委員会役員と校友会役員)



校友会企画の全校生徒による100周年人文字
(農業機械班によるドローン空撮)

会務報告

同窓会幹事長 北原 千歳 (高31回卒)



会員の皆様方には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

五月三十日に同窓会理事・代議員会が規模を縮小し書面議決の形式で開催され、令和元年度事業・決算報告をはじめ、令和二年度事業計画・予算案が承認され、正式に事業がスタートしました。諸事業については、実際は、ほとんど実施できず、終了となります。「創立百周年記念事業につきましては、令和二年二月十九日、「ビークラスマツカワ」を会場に第五回創立百周年記念事業実行委員会と同窓会支会長事務局長合同会議にて概要が決定し、実行に移す段階でした。しかし、その後新型コロナウイルス感染症の関係で四月以降の関連行事や会議が中止となりました。その後会議を重ね、七月十六日にリモート会議システムの紹介の後、実施日・会場等大幅な内容変更案が承認されま

した。最終的には、規模を大幅に縮小し、本校を会場に同窓会の役員の方々のみの限定参加にて、生徒らは各HR教室を会場とした分散型にて、十一月十四日に無事記念式典が挙行できました。当日早朝、延期になってきた記念碑の除幕や百周年記念棟「蛟竜館」のテープカットセレモニーを開催しました。また館内のお披露目を兼ねた「百周年展」は五百枚以上の大きい写真や数々の同窓会保管品を展示し来校者には好評でした。周年行事に関しては、新聞各社の特集記事をはじめ関連行事の報道にて、当日の記念式典に参加いただけなかった方々に対しても、雰囲気が少ないから伝わったと確信しております。現在も記念誌の購入につきましては、購入を受け付けておりますので、是非ご購入をお願致します。会員の皆様方には、百周年記念事業の募金活動にご協力いただき感謝しております。今後とも母校の発展のために、より一層のご理解とご協力を賜りたくよろしくお願いたします。

令和元年度 決算書

令和2年5月30日 提案
令和2年5月30日 承認

- 1 歳入総額 2,564,370円
- 2 歳出総額 1,846,456円
- 3 差引残額 717,914円

1歳入の部 (単位:円)

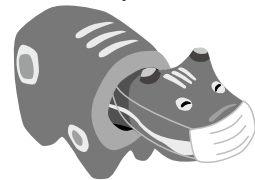
科 目	予 算 額			収入済額
	当初予算額	流用	計	
入 会 金	1,256,000		1,256,000	1,256,000
雑 収 入	0		0	41,316
繰 越 金	947,054		947,054	947,054
終 身 会 費	326,000		326,000	320,000
そ の 他	0		0	0
合 計	2,529,054		2,529,054	2,564,370

2歳出の部 (単位:円)

科 目	予 算 額			支出済額
	当初予算額	流用	計	
1, 事務費	420,000	62,750	482,750	250,910
1) 旅費	120,000		120,000	30,000
2) 事務費	50,000	30,149	80,149	80,149
3) 通信費	40,000	32,601	72,601	72,601
4) 消耗品費	50,000		50,000	27,000
5) 負担金	10,000		10,000	0
6) 交際費	150,000		150,000	41,160
2, 会議費	270,000	2,000	272,000	219,146
1) 役員会費	50,000	2,000	52,000	52,000
2) 代議員会費	160,000		160,000	149,146
3) 幹事会費	60,000		60,000	18,000
3, 事業費	1,550,000	0	1,550,000	1,267,240
1) 稲穂会費	150,000		150,000	142,267
2) 事業推進費	250,000		250,000	176,160
3) 稲丘時報発行費	350,000	111,480	461,480	461,480
4) 同窓会林管理費	10,000		10,000	6,259
5) 新正会員歓迎費	150,000		150,000	150,000
6) 稲丘会事業寄付金	200,000		200,000	200,000
7) 親善大会費	140,000		140,000	131,074
8) 100周年費	300,000	△ 111,480	188,520	0
4, 雑支出	240,000	△ 32,149	207,851	109,160
1) 慶弔費	110,000	0	110,000	54,520
2) 転退職職員記念品費	60,000		60,000	17,598
3) 雑費	70,000	△ 32,149	37,851	37,042
5, 予備費	49,054	△ 32,601	49,054	0
1) 予備費	49,054	0	49,054	0
合 計	2,529,054	0	2,561,655	1,846,456

令和二年度の支会総会開催状況

事務局が把握しております支会活動状況をお知らせします。本年度は新型コロナウイルス感染症のため、全支会、開催について事務局には連絡はありませんでした。令和三年度には、支会総会が開催でき、会員相互の親睦が深められることを願っております。



令和2年度 会員の異動

同窓会員	令和二年三月卒業により	一六一名
正会員	正会員になった人	一六二名
準会員	令和二年四月入学により	一六二名
正会員数	準会員になった人	一六二名
旧制		一九〇名
高校		二、四八九名
男子		一、六五〇名
女子		一、一六一名
		五、三六九名

令和二年 春秋の叙勲 受章

叙勲受章について

古田英士(高11回卒)



令和二年、春の叙勲に際しまして、長野県議会議員として八期三十二年間、又その間県議会議長、県監査委員、飯田市森林組合組合長十余年務める等、数々の要職の功績をお認め頂き、天皇陛下から旭日中綬賞の栄に浴し身に余る光栄と感激致しております。これも偏に三年間恩師として大変お世話になった、故今牧英世先生を始め、同級生、同年生、同窓生の皆様には最初から大変御尽力を頂いたおかげで、長年頑張る事が出来ました。本当にありがとうございます。

させて頂きました。又、その頃日本のチベットと云われた交通不便な伊那谷に夢の話が動き出してきました。私が初当選した昭和六十二年、国では全国第四次総合開発計画に、道路公団で行う有料道路の外に、国道と同じ無料での自動車専用道路を、全国二十四路線造ると発表され、浜松や太平洋を百kmで結ぶ三遠南信道を絶好の機会と捕らえ、国や有力な国会議員に猛陳情をくりかえし実現する事が出来ました。

私のもう一つの大きな夢がリニア新幹線でした。県で再三に渡り取り上げ重要事項にさせたり、国の機関、今の国土交通省、JR東海、有力な国会議員等々へ毎年数回陳情活動を続けて来て、いよいよ実現に近づいて来ました。これから未来を造る若い後輩の皆さん、夢をもって頑張ってください。長い事大変お世話になり有難うございました。

叙勲頂いて

矢澤輝海(高14回卒)



このたび秋の叙勲を頂くことが出来ま

した。叙勲は、旭日単光賞であります。これは長年農林水産業に功績を挙げたと言うことで頂きました。私は下伊那農業高校の十四回の卒業で有りです。卒業後は農業一筋に進んでまいりました。農協の役員もさせて頂き平成十九年から二十八年までみなみ信州農協の組合長として九年間務めさせて頂きました。下農同窓生の皆様を始め組合員又役職員の皆様に支えられ大変未熟な私で有りましたが務めさせて頂くことが出来ました。本当にお世話になりました。本年は新型コロナウイルスと言ふことで、東京での受章は、できませんでしたが十一月三十日に長野県から頂くことができました。

叙勲受章際して私の思い出

関浦雅志(高21回卒)

良いのか仲間の皆と研究を重ねておりましたが、当時は南部三ヶ村の農協でありましたが、それぞれの村で国の補助金でこの栽培施設を建てることになり天龍村では私が組合長になり農協の指導のもとでブナシメジ(当時はやまびこしめじ)の施設を作り栽培を始め平成元年の九月初出荷となりました。平成元年の五月に私は議員となり大変忙しい思いをした記憶があります。

私は令和二年十一月三日秋の叙勲で旭日双光章を受章しました。新型コロナウイルスのため十一月七日県庁にて知事から伝達を受けました。私平成元年五月一日から平成二十五年四月三十日まで六期二十四年間天龍村議会議員を勤め七十歳になり自治功労として受章しました。受章に際して多くの皆様からいろいろな形で祝意をいただき感激を感謝しています。そして私を六期二十四年間勤めさせていただいた地元の皆様や村民の皆様、そして私の仲間の皆様には心から感謝申し上げます。

当時を思いおこせば農業で専業にするにはどうすれば良いのか仲間の皆と研究を重ねておりましたが、当時は南部三ヶ村の農協でありましたが、それぞれの村で国の補助金でこの栽培施設を建てることになり天龍村では私が組合長になり農協の指導のもとでブナシメジ(当時はやまびこしめじ)の施設を作り栽培を始め平成元年の九月初出荷となりました。平成元年の五月に私は議員となり大変忙しい思いをした記憶があります。

今この叙勲についての原稿依頼により昔のことが少しばかり思い出すことができました。私のきのこ栽培には後継者がおり、家族経営ですが地域の産業として生き残るよう経営の手助けをしていきたいと思っています。大変ありがとうございます。

運動班の活躍

二〇二〇年度夏季高校野球 長野県大会に出場して

野球班 食品化学科3年 近 藤 慎之介

まず今回ベスト八に行けた事は私たちだけの力だけでは無理でした。応援してくださった皆さまありがとうございますございました。本当に感謝しております。

今回私たちは新しいチームになり安易に考えていたベスト四を目標に練習がスタートしました。当初私は、チームのまとめ役を任せられあまり考えず引き受けました。想像とは違い、意味ある練習ができない事や試合では勝てない事が続き現実を知りました。一番私が悩んだ事はチームの形に正解がなくどうすれば良いのかわかりませんでした。そしてコロナ禍もあり、一時練習ができない期間があり、私としてはチームを改めて見つめ直すいい期間でした。また各自でできる事をやり続け、私たちは大会をきらめいていませんでした。練習が再開し、できない事を責めるのではなく、お互いを指導しあう気持ち

を持ち、練習をしました。そして今年は試合が例年より少ない代替大会が始まりました。

一試合ずつ試合を重ねる事にチーム力が上がり、個々の能力も成長していると感じました。また三回戦の松川戦、ホームランを打たれここで打てる人やチームは凄いなと思いました。しかしそれより凄いのは、私たちが誰も諦めていなかったことです。だからこそ勝て、必然だったと思います。ですが練習は嘘はつかず、格の違いを佐久長聖戦で知りました。

私たちは三年間で野球だけでなく人間力も学ぶ事ができました。そして今回の経験は絶対これからの人生に生きると思います。最後にこのような経験をさせてくださった、監督、部長、コーチの方々に感謝します。



専門研究班の活躍

研究論文・作文コンクール

食品科学班 食品化学科3年

太田 理奈



私は、食品科学班の班長を務めてきました。一昨年、昨年と先輩方がプロジェクト発表のために、様々な活動をしてきているのを近くで見えてきました。私達も先輩達が今まで研究してきたものを引き継ぎ茶の研究をしてきました。

ですが、新型コロナウイルス感染症拡大により、研究ができなくなってしまいました。先輩達から七月に引き継ぎ約半年間研究を進めてきましたが、こんな形で研究がストップしてしまふとは思っていませんでした。

私達は主に、料理やお菓子などを試作して食べたりするので、先生から「食べ物を食べたりしないように。」と言われた時は、とても困りました。十二月や一月では、お茶の時期ではないので、班員や先生と相談しながら少しづつ進めてきました。昨年の先輩が残して下さった研究結果を取り入れ、自分達が納得する研究論文を書くことができました。

引つ張り、必ず北信越大会へ行くという目標を立て取り組んできました。しかし目標も無くなってしまいました。ですが、研究論文・作文コンクールへ出場し、最優秀賞を頂くことができました。今まで自分達が頑張ってきたことが、結果となりとてもうれしかったです。こんな形ではありましたが、高校生活最高の思い出となりました。



特級検定を受験して

園芸クリエイト科3年

塩澤 歩果

私は今年、特級検定を受験しました。きっかけは果樹の担当の先生に「特級検定を受験してみないか。」

と声を掛けて頂いたからでした。今年には新型コロナウイルスによる休校措置などによ

り、研究もレポートの作成も予定通りにいかない事が多くありました。しかし、多くの先生方に支えていただいたおかげで、こうして研究をまとめ、特級検定を受験し、合格することができました。

今年度の長野県の受験者は私一人だけで、九人の面接官の先生方に囲まれての面接はとても緊張しました。ですが、面接本番では聞かれた質問に対して、伝えたいことを自分の言葉で一杯伝えてくることができました。結果を待つていく数ヶ月間はとても長く感じられ、不安だらけの毎日でしたが、先日合格通知が届いた時には、とても嬉しかったですし、頑張つて挑戦してみても良かったなという気持ちでいっぱいでした。特級検定の受験を通して、レ

ポートの書き方や研究のまとめ方など、自分自身が成長することができました。受験にあたり、ご協力してくださった多くの先生方に心から感謝しています。高校卒業後は、大学への進学が決まっている為、特級検定の受験を通して学んだことを大いに発揮し、様々なことに興味を持ちながら、研究に取り組んでいきたいと思えます。



平成31年度卒業生進路状況

卒業生数		場所・種類	人数	比率	計	アグリサービス	農業機械	園芸	食品化学
男子	女子								
76人	85人				161	40	39	41	41
合計	161人								
就職者		管内	49	30.4%	計	76	8	38	18
男子 34人	女子 23人	県内	2	1.2%	男	85	32	1	23
小計 57人		県外	3	1.9%	女	30	1	25	3
比率 35.4%		公務員	3	1.9%	男女	19	9	1	4
		自営	0	0.0%	男	0	0	0	0
					女	2	0	1	1
					男女	2	0	1	0
					男	1	1	0	0
					女	0	0	0	0
					男女	8	0	3	2
					男	8	2	0	3
					女	4	2	0	0
					男女	19	8	0	7
					男	5	1	0	0
					女	2	0	0	0
					男女	25	4	8	5
					男	32	12	0	9
					女	0	0	0	11
					男女	1	0	0	0
					男				
					女				

進路状況

平成三十一年度(令和二年三月卒業)

卒業生の進路状況

進路指導部長 中 島 かおる

今年度は、コロナ禍において様々な活動が制限され、三年生にとつては厳しい進路活動を強いられる年となりました。実際、飯田下伊那管内における求人数も三割減少となりましたが、就職につきましては、十二月までになんとかすべて進路を決定することができました。進学は、

現在数名の受験結果を待つのみという状況にあります。

さて、昨年度の状況については、就職ではここ数年続いていた「売り手市場」の中、飯田下伊那管内の求人数、本校への県内外からの求人数ともに増加しました。業種別に見ると、製造業を中心に、人手不足が続

く建築土木系・サービス系なども多く、今となつてはありがたい状況でした。

具体的な就職状況については資料のとおりですが、就職希望

者の約九割の生徒が管内の企業・役場等に内定をいただきました。同窓生の皆様には様々な分野で支えていただいております。大変感謝しております。

進学 四年制大学(16名)

松本(人間健康)、愛知学泉(家政)、岐阜女子(家政2)、京都外国語(英米語)、京都光華女子(健康科学)、健康科学(健康科学)、昭和音楽(サウンドプロデューサー)、太成学院(看護)、東海学園(人文)、同朋(社会福祉)、名古屋音楽(音楽)、名古屋文理(健康生活)、日本福祉(スポーツ科学2)、酪農学園(農食環境)

短期大学(23名)

飯田女子(家政学科7/幼児教育学科7/看護1)

愛知医療学院(理学療法)、池坊(文化芸術)、中京学院(健康栄養)、名古屋経営(子ども3)、名古屋(英語コミュニケーション)、名古屋文理(食物栄養)

大学校(7名)

長野県農業大学校(総合農学4/畜産実科1)、愛知県立農業大学校(農学)、新潟県農業大学校(稲作経営)

専修学校(57名)

【調理・製菓11】名古屋調理師専門学校(6)、エコー社東京(3)、国際調理師専門学校名駅校、レコールパンタン

【医療10】東海医療科学専門学校(5)、信州リハビリテーション専門学校、あいち福祉医療専門学校、近畿リハビリ

テーション学院、名古屋デンタル衛生士学院、東海医療工学専門学校

【美容8】名古屋ビューティーアート専門学校(2)、名古屋理容美容専門学校(2)、愛知美容専門学校、中日美容専門学校、名古屋総合美容専門学校、ミスパリ・ビューティー専門学校東京校

【動物7】名古屋ECO動物海洋専門学校(5)、愛知ペット専門学校、名古屋スクールオブビジネス

【情報・工学5】飯田コアカレッジ(3)、東京電子専門学校、名古屋工学院専門学校

【公務員3】大原スポーツ公務員専門学校(3)

【ゲーム2】HAL名古屋、パンタンゲームアカデミー

【フライダル2】名古屋ウェディング&フライダル専門学校(2)

【音楽2】東放学園音響専門学校、名古屋ビジュアルアーツ

【その他】東海工業専門学校金山校、名古屋ウェディング&フラワー・ビューティー学院、名古屋リゾート&スポーツ専門学校、新潟農業・バイオ専門学校、日本外国語専門学校、ホンダテクニカルカレッジ関東、松本情報工科専門学校、

就職 公務員

飯田市役所、豊丘村役場、自衛隊

民間(管内)

KOAセvensの杜3、JMC3、エヌティーツール飯田工場2、コボックス2、シチズン時計マニファクチャリング2、アジア電子工業、NSKマイクロプレシジョン、コシブ精密長野工場、スタンレー伊那製作所、天龍、ヨシカズ、クロダ精機、小林製袋産業、三洋工具長野事業所、柴田科学、多摩川パーツマニファクチャリング、多摩川マイクロテップ、横浜ゴム、旭松食品(3)、ふくやま、天恵製菓、パン工房 ローカリズム、南信州菓子工房、シノダ設備、中部フォレスト、みなみ信州農業協同組合2、オートボックス美濃、三菱ふそうトラック・バス南関東・甲信ふそう、ジョイフルテン(3)、日本郵便信越支社(3)、綿半ホームエイド、信南交通、輝山会記念病院、アルプス煙火工業

【県内】

伊那バス、池の平ホテル&リゾート

【県外】

カクヤス(2)、全日警

編集後記

今年度の稲丘時報が完成しました。多くの皆様から原稿をお寄せ頂きありがとうございます。改めて感謝と御礼を申し上げます。

ただ、新型コロナウイルスの影響により、自動車・航空機関連の部品製造業の多い管内企業への打撃は大きく、飲食・観光業なども含めて急激に業務が減少している企業もあると聞きしています。今後の動向を見守りたいと思います。

次に進学についてですが、昨年度は、例年以上に進学希望者が多く、全体の六割を超えました。「栄養・幼児教育・調理・製菓・動物・農業」など、学科関連分野を中心に、様々な分野に進学しておりますが、特に「看護・医療系」が増加した点が昨年度の特徴でした。

しかし、就職者同様、コロナ禍の影響は大きく、入学後の登校もままならず、オンライン中心の授業が続くなど、慣れない環境に苦慮しているのではないかと危惧しております。一日も早く、平凡な日常が戻ることを願ってやみません。

また、このような時だからこそ、「命に学び、心を育む」本校での学びを礎に、それぞれが今できることに精一杯取り組み、この難局を乗り切ってほしいと切に願っております。